

平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	感染症危機管理費	担当部局庁	健康局	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度	担当課室	結核感染症課	結核感染症課 正林 督章			
会計区分	一般会計	施策名	IV-3-4 感染症の発生・まん延を防止する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成10年10月2日法律第114号)	関係する計画、通知等	感染症の予防の総合的な推進を図るための基本的な指針				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国民への適切な情報提供を行うこと、感染症発生時に迅速な対応を可能とするための関係機関の連携体制を整備すること及び感染症に対する専門家の医師の養成等、危機管理体制の整備を推進することにより、感染症の発生を予防し、そのまん延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的としている。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	感染症危機管理体制の整備と強化を図るための検討会の開催及び感染症に関する相談窓口の設置経費及び病院内での院内感染を防止するための自治体職員や医療機関関係者等に対する感染症に関する研修経費及び感染症指定医療機関等の医師に対して、海外の感染症例の診察・診療を行うための研修を実施している。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	26	24	22	16	16
		補正予算					
		繰越し等					
		計	26	24	22	16	16
		執行額	24	15	15		
	執行率(%)	92.3	62.5	68.2			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	当該事業は、国民への適切な情報提供を行うこと、感染症発生時に迅速な対応を可能とするための関係機関の連携体制を整備すること及び感染症に対する専門家の医師の養成等、危機管理体制の整備を推進することにより、感染症の発生を予防し、そのまん延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的としており、各事業における具体的な成果目標値等は設定は困難である。	成果実績		—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	当該事業は、国民への適切な情報提供を行うこと、感染症発生時に迅速な対応を可能とするための関係機関の連携体制を整備すること及び感染症に対する専門家の医師の養成等、危機管理体制の整備を推進することにより、感染症の発生を予防し、そのまん延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的としており、各事業における具体的な活動指数は設定は困難である。	活動実績 (当初見込み)		—	—	—	—
				—	—	()	()
単位当たりコスト	— (円/—)	算出根拠	当該事業は、国民への適切な情報提供を行うこと、感染症発生時に迅速な対応を可能とするための関係機関の連携体制を整備すること及び感染症に対する専門家の医師の養成等、危機管理体制の整備を推進することにより、感染症の発生を予防し、そのまん延の防止を図り、もって公衆衛生の向上及び増進を図ることを目的としており、各事業における具体的な活動指数は設定は困難である。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	社会保障関係情報化業務庁費	11	11				
	委員等旅費	3	3				
	職員旅費	2	2				
	計	16	16				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	少額随意契約
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>平成22年度予算において、感染症危機管理連携等事業を感染症危機管理体制整備事業と統合し、対前年度90.1%（△2,382千円）の規模に見直しを図ったところ。 今後も事業内容を精査しながら感染症の発生を予防し、そのまん延を防止するため引き続き事業の実施していく必要がある。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に基づく必要な事業であり、事業内容を精査しつつ、必要な予算措置を図るべき。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点（概算要求における反映状況等）			
-			
補記（過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載）			

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

厚生労働省 15百万円



【随意契約等】

A 民間会社(2社) 2百万円

感染症に関する適切な情報を提供する

うち事務費 13百万円

A.(株)太陽美術			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
雑役務費	動物由来感染症広報用ポスター作成に関する経費	1.4			
計		1.4	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)太陽美術	動物由来感染症広報用ポスター作成に関する業務	1.4		
2	協新流通デベロッパ(株)	狂犬病予防注射広報ポスター梱包・発送一式	0.3	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					